

『第三の皮膚』論 その2

東北芸術工科大学情報デザイン学科

幸村 真佐男

生物個体の境界である「第一の皮膚」。人間が社会的存在であることをシンボリックに表わす衣服は「第二の皮膚」である。微小化し、薄膜化しネットワークに接続される、これからのエレクトロニクス・メディアを、人々は衣服のように装置し、肉体に密着する「第三の皮膚」として位置づけられる。そしてそれはグローバル・プレーンとしての新しい共同体意識の形成をうながす。

(口頭発表のみ)